

田んぼの恵みを学ぼう！！

～田んぼの生きもの調査～



ふるさと・水と土基金

写真：北杜市小池地区集合写真

田んぼの 生きもの調査とは

農業・農村地域は、私たちが生きていくための米や野菜の生産の場である以外に、多くの生きものの繁殖・生息の場ともなっていることなど、多面的な機能を有しています。

山梨県では、このような農村地域で、生きものなどの環境に配慮し、農道や水路等の土地改良施設の整備を進めています。

環境に配慮した整備を進めていくためには、水田周辺の生態系の実態を把握する必要があります。このため、水田周辺の代表的な生きものである「魚」「カエル」などについて、その生息状況を把握するための調査をふるさと・水と土基金事業の一環として実施しており、平成28年度は県内で16地区実施しています。

調査実施！

生きもの調査は、地域活動のリーダーとして、県が委嘱しているふるさと・水と土指導員を中心として、農家、地域住民、



調査実施状況

小学校等と連携しながら実施しています。子供たちは、泥まみれになりながら、カエル、ドジョウ、カワニナ、タニシ、アメンボ等を捕まえて観察することとで、地域の良好な自然環境、農業の大切さについて学んでいます。また、捕まえた生きものの中には、絶滅危惧種に指定されている、イモリ、メダカ、トノサマガエルも見つけることができ、子供たちは目を輝かせながら観察しています。

このような活動を実施することで、自然との共生を目指した地域づくりのための取り組みや地域の農家や子供との交流のきっかけにもなっています。

田んぼの生きもの調査とは

① 調査場所を決めましょう

田んぼ、水路、ため池等の調査地点を決めます。危険な場所や生きものがあるかどうか事前に調べておきましょう。

② 保険に入りましょう

怪我をしないことが一番ですが、念のため、参加者の保険をかけておくと安心です。

③ 調査道具の準備

タモ網、カゴ網、蓋付きのバケツ、えさ、アクリル水槽、定規、カメラ、胴長等



④ 生きものを捕まえよう

タモ網、カゴ網を使って、生きものを捕まえます。泥の中に潜んでいる生きものもいるので、足元や作物に注意しながら倒さないように探しましょう。

⑤ 図鑑で調べよう

捕まえた生きものを参加者みんなで観察します。アクリル水槽等を使って記録をとると次回の調査の時にも役立ちます。観察が終わったら、生きものは、元のところに戻してあげましょう。

⑥ みんなで話し合おう

田んぼの生きものと共に暮らしていけるように地域保全のやり方を検討しましょう。



どんな生きものがあるの？



水質を調べてみよう

専用の水質調査キットを用いれば、簡単に調査することができます。

調査キットは、インターネット等で簡単に手に入ります。